

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
目的	(1) 国籍などの異なる人々が互いの文化や価値観の違いを理解しあい、共に地域社会の一員として安心して暮らすことのできる、多文化が共生する地域づくりを目指します。 (2) 国際社会での相互理解を深め、国際的な感覚を養い、コミュニケーション能力を高めるなど、国際社会の中で活動できる人材の育成を目指します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
国際交流ボランティア登録者数	目標値		605.0	610.0	615.0	620.0	人	目標値							
	取組目標値			680.0	685.0	690.0		取組目標値							
	実績値	600.0	677.0	682.0				実績値							
	達成率	-	112.0	100.3				達成率	-	-	-	-			%
定性目標	目標値						%	目標値							
	取組目標値							取組目標値							
	実績値							実績値							
	達成率	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-		%	
平成28年度～平成31年度															
・語学ボランティア ・ホームステイホームビジットボランティア ・日本語ボランティア ・多文化紹介ボランティア ・子どもサポーター ・コミュニティ通訳ボランティア ・災害時外国人サポーター の登録者数の合計															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	・平成31年度の目標値を620としていたが、平成28年度にボランティア養成講座の開催を増やすなど集中的に取り組みの強化を行った結果、ボランティア登録者数が大幅に増加したことにより、目標値を引き上げている。														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に住む外国人は平成29年12月末現在で7,689人、県人口の約1%を占める。近年、国籍、家族構成、居住形態等、外国人住民の属性が多様化しており、寄せられる相談内容も複雑化している。しまね国際センターによる関係団体への働きかけや、ボランティア養成講座の継続的な開催などにより、成果指標であるボランティア登録者数は増加傾向にある。 ・外国人住民向けに、多言語による生活情報の提供や、相談窓口を開設するとともに、公共施設の窓口等に対して外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」を利用促進する等の取り組みをしまね国際センターと連携して実施している。 ・友好関係を結ぶ海外自治体等との交流により相互理解を深めるとともに、それら関係国との青少年の派遣・交流事業を通じて、次代を担う若者の人材を育成しているが、近年は参加者数が減少傾向にある。
---	---

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ボランティアの登録者数は概ね順調に増加しているが、急増するブラジル人住民に対応するためのポルトガル語の登録者数の更なる確保が必要である。 ・多言語による相談窓口の拡充や、公共施設等における「やさしい日本語」の普及促進などに取り組んでいるが、増加する外国人住民に対応するため、更に充実していく必要がある。 ・次世代人材育成のための青年派遣事業においては、SNSの活用や県内大学への周知等により若い世代の参加者増加に改善がみられたものの、一部事業の参加者数は最終的に募集定員に達しないなど、引き続き参加者を増やすための取組が必要となっている。

⑤課題の認識

(1) 平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
(2) 施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の在留期間の長期化や多国籍化にともない相談事例が複雑化しているため、関係機関や「外国人地域サポーター(※)」との連携強化を図るなど、個々の事情に対応できる相談体制の確立が必要となっている。また、需要が大きいポルトガル語のボランティア登録者の増加と、相談体制の充実が課題である。 ※外国人地域サポーター …200人以上外国人が在住する自治体に知事が委嘱。外国人住民と市町村等行政との橋渡し役を行う。 ・行政窓口等における「やさしい日本語」の普及を更に推進していく必要がある。 ・国際交流に興味を持つ青年はまだ少ないため、今後も県が実施する国際交流事業の魅力に応募対象者に広く発信・周知する充実した広報が必要である。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や「外国人地域サポーター」との連携を強化し、外国人住民のニーズの把握に努めるとともに、多言語による相談体制を充実するほか、複雑化する外国人住民の課題に関係機関と連携して対応する。 ・国際交流ボランティア登録者数については、充実が求められているポルトガル語のほか、多国籍化(多言語化)する外国人住民に対応できるよう、登録者増加に向けたしまね国際センターの取組みを支援する。 ・しまね国際センターのホームページやメールマガジン、フェイスブックなどを活用して外国人住民に対する生活支援情報等を多言語や「やさしい日本語」で発信し、外国人住民が暮らしやすい地域づくりを進める。他の行政窓口等においても「やさしい日本語」が活用されるよう、普及を推進する。 ・多文化共生の観点からも若者に国際感覚を身につけてもらうことは必要であるため、青年派遣・交流事業のプログラムの魅力が伝わるよう動画やSNSを活用するほか、過去の参加者のネットワークを活用するなど、参加者の増加に努める。
---------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ－3－3 国際化と多文化共生の推進
-------	----------------------

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	外国青年招致事業	国際的な相互理解を進める。	23,920	24,727	文化国際課
2	外国人住民との共生事業	外国人住民が県内で生活し易くする。	1,659	6,828	文化国際課
3	国際海外協力事業	島根県が持っている様々なノウハウを海外に移転し、地域間交流の拡大を図る。	2,276	2,153	文化国際課
4	北東アジア地域自治体との連携	北東アジア地域の自治体との友好関係の強化を図る。	10,132	13,371	文化国際課
5	北東アジア地域との交流	北東アジア地域への関心を高め、相互理解と交流を拡大す	1,916	2,000	文化国際課
6	次世代人材育成のための青年派遣・交流事業	次世代を担う国際感覚を備えた青年を育成する。	8,099	8,194	文化国際課
7	民間交流・友好団体等の支援	民間における国際交流活動等を促進する。	1,223	1,286	文化国際課
8	国際ネットワークの形成	島根県の情報発信を行い、島根県との関係を密にする。	24	2,045	文化国際課
9	しまね国際センターの支援	県民の国際理解や多文化共生、国際交流・協力などの実際の活動に直接的に関わる国際センターを支援し、より県民に身近で信頼感のある団体とする。	23,084	24,240	文化国際課
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					